

# 水俣市における自動撮影装置による哺乳類の確認

長峰 智

熊本県立水俣高等学校

## Confirmation of wild mammals with sensor camera in Minamata City, Kumamoto Prefecture, Kyusyu, Japan

Satoru Nagamine

Minamata High School

### 目的と調査法

熊本野生生物研究会では熊本県のRDB調査の一環として、2009年～2010年に水俣市大川の森に巣箱と自動撮影装置を樹幹に設置し、ヤマネ *Glirulus japonicus* やモモンガ *Pteromys momonga* など樹上性の哺乳類を撮影して報告した（坂田ほか 2010）。筆者もその調査に加わり、この調査法が哺乳類の生存確認に極めて有効であることを認識した。

筆者は1988年から水俣市久木野に在住し、竹林や畑でイノシシ *Sus scrofa* およびアナグマ *Meles meles* による作物被害やそれらの個体を目撃していた。また、1990年代には裏山でタヌキ *Nyctereutes procyonoides* のタメ糞を見ていたが、2000年代にはその場所では見なくなった。

さらに、2009年～2011年に筆者の勤める水俣市南福寺の水俣高校裏の敷地内で、アナグマやテン *Martes melampus* を目撃していた。また、2011年5月に水俣市長野町在住の江上亨子氏から、水俣市にも特定外来生物であるアライグマ *Procyon lotor* が生存しているのではないか、という情報が本会の天野守哉氏に寄せられた。

そこで、それらの目撃や情報に基づいて、上記の3ヶ所に自動撮影装置を設置した。設置場所は図1に示す。装置は(有)麻里府商事（山口県岩国市）のSensor Camera シリーズからフィルムカメラFieldnote Iaを使用した。設置した時期は、水俣市久木野が2009年4月～5月、水俣市南福寺の水俣高校が2010年12月～2011年1月、そして、水俣市長野町が2011年5月～6月である。本論ではそれらの地域での撮影結果について報告する。

本報告にあたり、水俣市長野町の江上亨子氏には地主の方への装置設置許可の労をとっていただき、さらに、現地の案内もしていただいた。同町の地主の方にはカメ

ラの設置を快諾していただいた。また、本会の坂田拓司氏、および安田雅俊氏には自動撮影装置の使用法や野生動物の同定についてご教示いただいた。さらに長尾圭祐氏には原稿の細部にわたり有益なコメントをいただいた。以上の方々に心よりお礼申し上げます。

### 結果と考察

撮影の結果は表1に示す。撮影された哺乳類は、アナグマ、イノシシ、テン、タヌキ、イタチ類 *Mustela* spp. およびアカネズミ類 *Apodemus* spp. である。アナグマは久木野と長野町で、イノシシは久木野、南福寺及び長

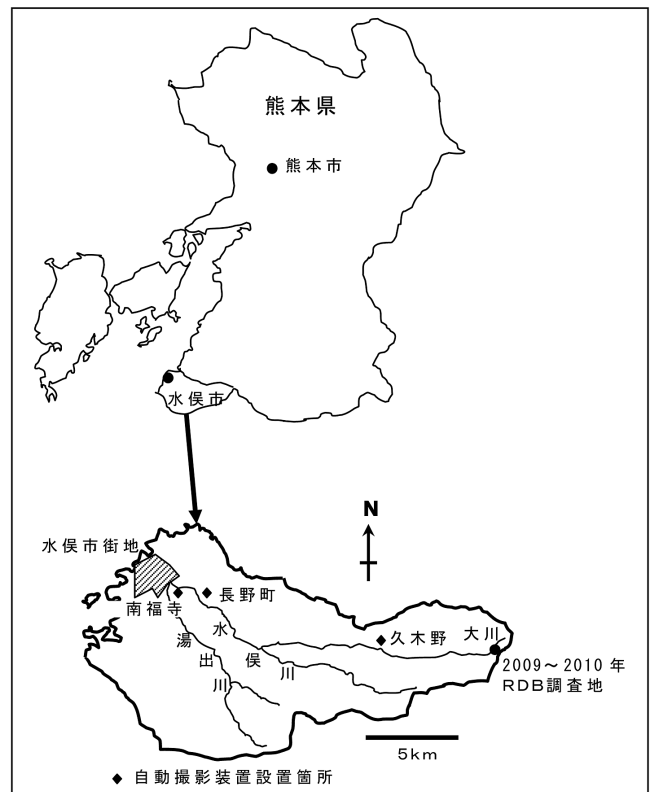


図1 水俣市における自動撮影装置設置場所

表1 自動撮影装置により撮影された生物種

設置場所		設置期間	撮影枚数	撮影された動物とその枚数	設置場所の概況他
1	水俣市久木野	2009年4月～5月	58	アナグマ 12 イノシシ 1 タヌキ 2 イタチ類 1 アカネズミ類 12 コジュケイ 2 判定不能 4	モウソウチクが侵入したヒノキ人工林。下層は10年生程度のアオキなど。イノシシによる筈を掘った痕跡がある。
2	水俣市南福寺 水俣高校	2010年12月～2011年1月	58	イノシ 2 テン 3 タヌキ 1 ヒヨドリ 3 判定不能 5	30年生のツツジの植栽及び10～20年生のカシ類などの雑木林。
3	水俣市長野町	2011年5月～6月	35	アナグマ 8 イノシシ 4 テン 1 判定不能 14	40～50年生のスギ人工林。隣接する甘夏果樹園に落下果実の食痕がある。

野町で、テンは南福寺と長野町で、タヌキは久木野と南福寺で、イタチ類は久木野で、アカネズミ類も久木野で撮影されている。なお、長野町で存在が疑われたアライグマは撮影されなかった。また、3ヶ所のうち久木野で最も多くの種類の哺乳類が撮影された。

久木野は水俣市の山間部に位置し、いわゆる里山が広がっている。南福寺および長野町は水俣の市街地に近く、畑や水田と住宅地が隣接する場所である。表1の撮影結果は、イノシシやアナグマが里山から人里まで広く生息することを示している。イノシシなどのいわゆる有害鳥獣による農作物の被害は、近年各地で深刻な状況になっている。水俣でも山間部の水田や畑にはこれらの被害を避けるために電気柵を設けるケースが多くなってきた。

また、筆者は1990年代に水俣市街地および久木野で疥癬にかかって無毛になったタヌキを目撃したことがあっ

た。今回、久木野および市街地に近い南福寺でタヌキが撮影されたことは、これらの地域でタヌキが疥癬によりいなくなることはなかったことを示している。

撮影された期間が短く、撮影箇所が少ないので、水俣市全域における地上性哺乳類の生息は十分把握できているとは言えない。しかし、今回の報告は先の大川地域でのRDB調査結果（坂田ほか 2010）とともに、水俣地域における哺乳類の生息状況の把握のための基礎的な資料となる。

引用文献

坂田拓司・安田雅俊・長峰智. 2010. 熊本県水俣市大川におけるニホンモモンガ *Pteromys momonga* とヤマネ *Glilurus japonicus* の確認. 熊本野生生物研究会誌, (6) : 23-28.

受付日：2011年12月27日 受理日：2012年5月10日

連絡先：長峰 智

〒867-0281 熊本県水俣市久木野1011-2  
ファックス 0966-69-0511  
電子メール s-naga.hst@nifty.com